

Dummy Deck (ダミーデッキ)

ダミーデッキは軽量で耐久性のある積載用の荷台で、ビッグダミーやエクストラサイクルのフリーラディカル上のレールを連結します。デッキにはストラップやひもを取り付けられるよう穴があげられ、リアライトのブラケット用取り付け穴、アクセサリー取り付け穴、エクストラサイクルのスーパーフック用に円錐状に空けられた穴などが用意されています。

ダミーデッキは強靱性や耐久性、リサイクル性の観点から4mmの厚いアルミ板で作られています。アルミニウムはペイントもパウダーコートも、アナダイズドも行えます。簡単に機械切削が行え、しっかりとコーティングがされていれば腐食に耐え、ロープロファイルで軽量な設計に向けた素材です。

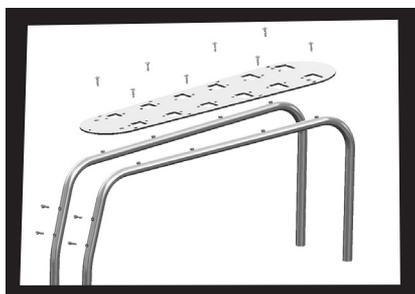
ダミーデッキはM5の金属ハードウェアを使ってダミーレールに直接ボルト留めすることによって、ダミーシステム全体を統合し剛性を上げています。機械切削でステンレススチール製、20mmの長さでフランジ状のボタンヘッドを持つボルトとダミーレールでもって取り付けは完成されます。デッキの取り付けには大半のM5x20mmスチールハードウェアが使えます。ボルトの頭の径が11mm以下の場合、根元にワッシャー(外径が11-15mmのもの)を入れることをお勧めします。

エクストラサイクル製スーパーフックの使用に際して、ダミーデッキはエクストラサイクルのVラックとも互換性があります。

ダミーレールの取り付けは有能なプロの自転車整備士に行ってもらうことを強くお勧めします。

Installation on Dummy Deck (ダミーデッキの取り付け)

1. ダミーレールを説明書に従って取り付けます。
2. 説明書に従ってダミーレール上にダミーバッグを取り付けます。
3. レール上部にデッキを置き、デッキ上の穴とレール上のボス位置を揃えます。
4. 付属のフランジ状ボタンヘッドのネジにグリスを塗ります。
5. デッキの穴を伸介してネジをレール上のボス穴にねじ込んでいきます。この際全てのネジがレール上に取り付けられるまできつく締め込まないで下さい。
6. 全てのデッキ固定ネジを4-5Nmのトルクで締め込みます。



Installation on Xtracycle V-racks Using Superhooks

(スーパーフックを使ったエクストラサイクル製Vラックへの取り付け)

1. エクストラサイクルの説明書に従いVラックを取り付けます。
2. 説明書に従いVラック上にバッグを取り付けます。
3. 円錐状に空けられた穴を利用してスーパーフックをダミーデッキの下に付属のネジで緩めに取り付けます。
4. スーパーフックをVラックチューブの下側にはめ込み、デッキ上部側からM6皿キャップのボルトをエクストラサイクルの推奨トルクで締め込みます。

注意: バッグストラップが間に挟まれる関係上、スーパーフックのボルトが締め込まれるとデッキがたわんできます。これは単なるエクストラサイクルのスーパーフック、デッキ固定システムの機能から起こるものです。デッキとスーパーフックの間に大きな径のワッシャーを挟むことで、この変形は減らすか無くすることが出来ます。バッグストラップの厚みはメーカーにより異なりますので、ワッシャーを積み重ねて高さを合わせるには、ちょっとした試行錯誤が必要かもしれません。

Safety (安全情報)

ダミーカーゴシステムの最大積載重量は90kgで、バッグは一つにつき34kg、デッキは23kgです。他の会社のロングテールキットがダミーカーゴシステムの最大積載重量と互換性があるかどうか確認を行って下さい。何をどのように運ぶかは自転車のハンドリングに大きな違いを及ぼします。異常に重かったり、長かったり、大きな貨物は注意をしないとお客様自体を衰弱させることとなります。**積載する荷物は左右均一にし、しっかりと固定して下さい。**

乗車前には常にストラップやコードが緩んでいないか、その他ホイールに引っかかるようなものがないかの安全確認をして下さい。

△ 警告: この製品は生き物を運ぶように設計されていませんし、お勧めもしません。人を乗せて走るのを見ると、私たちはひどく眉をひそめることでしょう。

サーリー製品全ての更なる安全情報については、www.surlybikes.com/safetyをご覧ください。

Limited Warranty (制限保証)

十分に使ったものは破損、もしくは消耗します。それは我々の手に余る症状です。サーリーの製品は購入日から1年間製造または設計上の欠陥がないことを保証します。通常走行の状況下では破損しないことを保証、あなたが自転車に乗ってとった行動には責任を負いません。一方正しく取り付けられず破損、もしくは設計に反した使い方で破損した製品にも責任を負えません。何かしら思い通りに動かないという症状があれば、私たちに問い合わせてください。サーリーの製品を壊してしまったり白状してください。乗り続けられるよう交換品を用意出来ると思います。

残念ながらベイント関係も保証の対象外ですし、私たちのある製品の欠陥により引き起こされたお客様自身もしくは他のお客様の製品への損害保証も負えません。最後になりますが製品に改造を施したり手入れを怠る方に対しても責任を負えませんし、そういった使い方をされている間に起こったことにも責任を負えません。

保証を受ける必要が出てきたら購入を証明するレシートと共に必ず購入されたお店に返品してください。止ん事無き事情でこれが不可能な場合、電話もしくはメールをいただければ再び乗れるよう最善を尽くします。

CONTACT US:

SURLY

Phone: 877.743.3191

Web: www.surlybikes.com

E-mail: derby@surlybikes.com

Where We Is: 6400 W. 105th St.,
Bloomington, MN 55438 USA